

- 2 電子看板「あつナビ」を増設
- 3 地域を守る消防団
- 4-5 特集 仕事×家庭×自分の時間
みんなで支える幸せのかたち
- 6-8 街の話題/コラム/お知らせ

鮎あゆが夏を連れてきた！

勢いよく跳ねるしなやかな魚体が、さおをしならせ、力強い生命力を釣り人の腕に伝えます。アユ釣りを楽しむ太公望たちが川面に並ぶ風景は、厚木の夏の風物詩です。

初夏になると、スイカに似た香りをまとった相模川を遡上するアユ。江戸時代には、将軍家へ献上されるほどの名産品として知られ、市章や祭りのモチーフに使われるなど、今も市の象徴として親しまれています。

市は、県や相模川流域の市町村、漁業団体と共に、アユの保護や消費拡大に取り組み「浜の活力再生プラン」を策定しました。アユがいつまでも地域で愛されるよう、計画に沿って、河川の環境を整えたり、加工品を市内外で販売したりしています。

季節の楽しみやにぎわいを連れて、相模川へと戻ってきたアユ。厚木の夏が始まりました。

固観光振興課 ☎225-28200
（浜の活力再生プラン）は、農業政策課 ☎225-28001

あつき 元気Wave

ケーブルTV 7/1～

アユのおいしさを紹介



3～12月の第1・3日曜にJAあつき農産物直売所「夢未市」で塩焼きを販売

Zoom Up

本厚木駅周辺の情報発信力を強化

電子看板「あつナビ」を増設

一日約15万人が行き交う本厚木駅で効果的に情報を伝えるため、「あつナビ」を8台設置しました。市のサービスやイベント告知に加え、台風の接近や避難所開設などの防災情報も配信。大切な情報を、素早く的確に皆さんに届けます。

市はこれまで、利用者が多い本厚木駅前には大型映像装置「あつぎビジョン」や横断幕を設置し、行政の情報をお知らせしてきました。さらに発信力を高めるため、昨年4月には本厚木駅連絡所にあつナビを新設。7月から駅前北口広場に8台増設しました。自立式で屋外に連続して8台を設置するのは、県内でも初めての試みです。

8台使った高い宣伝効果

あつナビの利点は、表示する静止画や動画、文字情報を即座に更新できることです。災害時は避難に必要な情報



多種多様なコンテンツ

イベント・観光案内や防災ニュース、地域の話題などの最新情報を素早く発信。



あつナビの概要

電子看板(デジタルサイネージ)

【放映時間】6~24時

【大きさ】縦180センチ×横89.3センチ×奥行き17センチ

まちの「ぎわい」創出に役

あつナビでは、行政情報に加え、自

を発信でき、イベントの際は「案内板」の役割も果たします。モニターは、通行者の目に留まりやすいよう目線の高さに設置。鮮やかな画像や映像で情報を分かりやすく伝えます。さらに約10本の番組を2〜3分ごとに配信し、情報を目にする機会を増やします。

通勤で駅を利用する座間洋平さん(36・中町)は「駅に来た時に、市の情報をリアルタイムで得られるのがうれしい」と期待を込めます。

主財源を確保するため、民間広告も配信します。今後は、写真撮影が楽しめるフォトスポットとしての活用も進めるなど、新たな市街地の「ぎわい」創出にもつなげていきます。

駅前北口広場は、観光やビジネスなどで、市外や外国から多くの人が訪れます。市では、あつナビの活用と合わせ、スマートフォンやタブレットなどのインターネット接続が無料で簡単にできる公衆無線LAN環境「Atsugi Free WiFi」を8月に駅周辺に導入する予定です。たくさんの方々が行き交う本厚木駅周辺。いつでも便利で快適に情報収集ができる場

参加無料

市の事業をみんなでチェック

外部評価を傍聴しませんか

今年も、市民の皆さんの声を市政に反映させる「市民参加型外部評価」を開催します。意見や評価の結果は、事業の見直しなどに役立てていきます。

実施日	時間	対象事業
7月28日(土)	13時~	見本市等出展事業補助金
	14時~	子育てパスポート事業費
	15時~	男女共同参画推進事業費
	16時~	介護職員キャリアアップ等支援事業補助金
7月29日(日)	13時~	自転車走行空間整備事業費
	14時~	映像メディア活用事業費
	15時~	運動公園維持管理事業費
	16時~	スマートハウス推進事業費補助金

会場はあつぎ市民交流プラザ。
当日直接会場へ。入退場自由。

~当日会場へ来られない方へ~
インターネットで生中継とネット投票も実施。PCから参加できます。



誰でも傍聴可能

行政経営課 ☎225-2160

誰もが情報を得られる環境に

市ではこの他、広報紙やホームページ、テレビ、ラジオに加え、インスタグラムやツイッターをはじめとするSNS(ソーシャル・ネットワーク・キングダム)などの情報媒体を使い、情報を発信しています。今後も世代を問わず、多くの皆さんが情報を受け取れる環境づくりに取り組んでいきます。

問 広報課 ☎225-2040

あつぎビジョンの撤去工事を始めます

あつナビの導入に伴い、長年、駅前でお知らせを発信してきたあつぎビジョンの撤去工事を実施します。

期間 7月1~31日

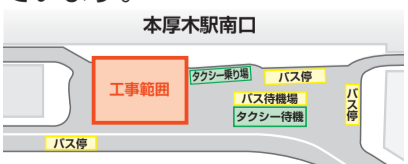
場所 本厚木駅 北口

☎ 広報課 ☎225-2040

南口方面の玄関口をより 便利 により 快適 に

本厚木駅南口広場の工事が進んでいます

2020年度の竣工を目指し、再開発組合により本厚木駅南口駅前広場の整備を進めています。現在は、新たに設置する歩行者デッキの基礎工事を実施しています。



工事にご協力をお願いします

工事に伴い、駅前広場が縮小しています。一般車両はできるだけロータリーに入らないでください。

市街地整備課 ☎225-2851



災害に備えホースの巻き方や点検方法を先輩が指導

Q Zoom Up

安心・安全を支える身近な存在 地域を守る消防団

消防団は、市民の安心・安全を守る、地域に最も身近な組織です。普段は訓練や警戒の呼び掛けなどで災害に備え、いざというときには消防職員と協力して消火や救助に当たります。あなたの力を地域のために生かしませんか。

火災や水害などの災害は、突然、私たちの暮らしを襲います。そんな時、地域ごとに組織されている消防団は、最も身近な場所で素早く対応できる頼れる存在です。東日本大震災や熊本地震でも、地域の消防団員が、救助や安否確認などに当たりました。一方で、1950年代に全国で約200万人いた団員は、今では約85万人にまで減少するなど、人員の確保が課題となっています。

地域防災の要として

市内では、552人の団員が「自分たちのまちは自分たちで守る」という思いを胸に活動しています。団員は、常勤の消防署職員とは異なり、別の仕事に就きながら、夜間や休日に、パトロールや消火訓練、機材点検などを実施しています。災害が起きると、昼夜を問わず現場に駆け付け、消防職員と協力して消火などに当たり、地域防災の要として活躍します。消防団長の望月玉三朗さん(66・水引)は「消防団員は地域で生活しているからこそ、住んでいる人や危険な場所をよく知っている。普段お世話になっている皆さんを守るように、日頃から地

域の危険に目を配っている」と話します。

女性や学生も活躍

団員として活動するのは、男性だけではありません。2005年に発足した女性消防団には、10人が所属。防火啓発や応急手当の普及などに取り組んでいます。団員の大塚彩未さん(24・関口)は「消防団には、男女問わず果たせる役割がある。特別警戒の放送は、女性の声聞き取りやすいと評判だった」と話します。団員には、6人の学生もいます。市では、学生が意欲的に活動できるように、就職活動などに生かせる認証制度(左下欄参照)を昨年4月に開始。多くの人が参加できる仕組みを整えています。

施設の機能も充実

地域の防災力を高めるには、消防団の地道な活動に加え、設備や施設の充実が不可欠です。市では、消防・防災の拠点となる南毛利・相川分署の移転・整備を計画しています。力を合わせて、より災害に強いまちにしていきたいでしょう。

消防総務課 ☎223-9366

地域のためにあなたの力を

消防団員を募集

市民の皆さんの安心・安全を守る消防団で、あなたの力を生かしませんか。

《主な活動内容》

	災害時	平常時
一般団員	消火・救助・水防活動、避難支援など	消火訓練、警戒パトロール、資機材点検など(月2回程度)
女性団員	大規模災害時の消防署職員・団員の後方支援など	火災予防の広報、応急手当の普及・啓発、高齢者などへの防火指導など

《条件》 市内在住で健康な18歳以上

《任期》 1期2年

《待遇》 出動手当、公務災害補償、退職報償金、被服貸与、表彰制度など

地域に溶け込むきっかけに

活動をしていく中で地域の安全を守ることはそこに住む自分の家族を守ることに繋がると気がきました。私は市内出身ではないので、入団をきっかけに地域に知り合いを増やすこともできました。



第6分団第1部
澤入甲さん
(38・七沢)

学生団員に証明書を発行

就職を支援するため、1年以上継続して活動した学生に、活動を認証する証明書を発行します。



女性消防団
学生団員
増淵菜々さん
(20・船子)

学校ではできない経験

大学の空いている時間に何かできないかと思い消防団に入りました。地震や台風など災害への危機意識が芽生え、応急措置など社会人になってからも役立つ知識も身に付き、自分の財産になっています。

☎いずれも消防総務課 ☎223-9366へ。

早期発見が骨折を防ぐ

骨粗しょう症施設検診

骨折の原因となる骨粗しょう症の予防と早期発見のため、今年から病院で受診できる施設検診を実施します。健康寿命を伸ばすため、ぜひ受診してください。

《期間》 7月17日～2019年2月15日

《対象》 ①検診時に市内在住②本年度40・45・50・55・60・65・70歳になる③骨粗しょう症またはこれに起因する疾病で治療を受けていない④の全てに該当する女性

《費用》 1500円。費用免除証明書の交付を受けた方や生活保護世帯の方は免除

《内容》 エックス線による骨密度測定

☎直接または電話で健康づくり課へ。申し込み後に受診券を送付します。

実施医療機関は、受診券に同封の一覧または☎をご覧ください。



手を乗せるだけで測定できる

自覚症状がないので早めの検診を

骨粗しょう症は、骨密度が低下し骨がスカスカになって骨折しやすくなる病気です。女性ホルモンと関わりがあり、80歳の女性のうち80%が骨粗しょう症を発症しているというデータもあります。自覚症状が無いと気付かないうちに進行し、腰や背中に痛みが生じてから発覚することが多いです。ひどくなると骨折を引き起こし、寝たきりの原因となる場合もあるので、予防と早期発見・治療が重要です。自分は大丈夫と思わずに、早めに検診を受けましょう。



峯崎整形外科院長
峯崎孝俊さん(59)

☎健康づくり課 ☎225-2201



社会に出て、母でなく一人の人として接してくれるのもやりがいにつながっている



勤務先の企業内保育施設に次男を預けて出勤



日頃から家族でコミュニケーションを取るよう心掛けている

横井さんは、3児の母。夫の辰彦さんと一緒に、年ごろの長女(中学2年)と長男(小学6年、やんちゃな次男(3歳)の子育てに励んでいます。第一子を産む前は、歯科衛生士として働いていた横井さん。子育てに専念するため、しばらく仕事から離れていました。「上の子たちが手が掛からなくなってきたので、少しでも家計の助けになれば」と職を探し始め、以前から興味があった障がい者をサポー

横井さんは、3児の母。夫の辰彦さんと一緒に、年ごろの長女(中学2年)と長男(小学6年、やんちゃな次男(3歳)の子育てに励んでいます。第一子を産む前は、歯科衛生士として働いていた横井さん。子育てに専念するため、しばらく仕事から離れていました。「上の子たちが手が掛からなくなってきたので、少しでも家計の助けになれば」と職を探し始め、以前から興味があった障がい者をサポー

家とは違うママの顔

働いてお金を稼ぐことは、生きていく上で欠かせません。一方、家庭や趣味の時間を大切にしたいと考えるのも自然なことです。近年、在宅勤務や時間差出勤の導入など、働き方の選択肢が増えています。しかし、子育てや介護など、ワークライフ・バランスを变えざるを得ない状況は必ず訪れます。

会社が多様な働き方を支援

トする仕事に就くことを決めました。

横井さんは、仕事を始める上で決めたことがあります。「子どもたちに寂しい思いをさせない。短時間での勤務を希望していた横井さんは、幼い次男を働いている間だけ預けられる場所を探しました。そこで目に留まったのが、企業内保育を実施している今の勤め先でした。

家族の思いやりが力に

「デニスの練習はどうだった」「今度の休みはどこに行こうか」。家族みんながそろって休日のひととき。子どもたちの学校での様子や、家族で出掛けたい場所などを語り合うこの時間が、横井さんは大好きです。「仕事で子どもと離れるのは寂しいけれど、一緒にいる時間を大事にしよう」という気持ちが強くなった」と家族で過ごす時間の大切さを、改めてかみしめています。



みんなで支える

仕事×家庭×自分の時間 幸せのかたち

限りの時間を有意義に過ごすには、仕事と生活の調和とワークライフ・バランスが大切です。思い描く調和の姿は、年齢や家族構成、職種など人生の過程で刻々と変わります。皆さんは、今の自分に合った仕事や生活かできていますか。

市民協働推進課 ☎25-2215

仕事との両立を応援 参加者募集

ワークライフ・バランスを見直すきっかけに講座を開催します。ぜひ参加してください。

チャレンジクッキング! ~イクメンのための料理教室~

〈日時〉7月28日、10~13時
〈場所〉あつぎ市民交流プラザ
〈対象〉市内在住在勤在学の男性保護者20人
※託児あり(1歳~小学3年生、要予約)
〈費用〉700円(材料費)
☎直接、電話またはハガキにて住所、氏名、電話番号、アレルギー、託児の有無を書き、7月11日(必着)までに〒243-8511市民協働推進課へ。抽選。☎182002



時間を有効活用~タイムマネジメント講座~ 無料

〈日時〉9月8日、10~12時 〈場所〉あつぎ市民交流プラザ
〈内容〉仕事・家庭・趣味などを両立する時間管理のこつを学ぶ
〈対象〉市内在住在勤在学の方30人 ※託児あり(1歳~小学3年生、要予約)
☎直接、電話またはハガキにて住所、氏名、電話番号、託児の有無を書き、8月17日(必着)までに〒243-8511市民協働推進課へ。抽選。☎182103

市民協働推進課 ☎25-2215

生活を見つめ直すのが第一歩



市男女共同参画推進委員会委員長 奥田 七代さん

充実した暮らしを送るためには、仕事や家庭、息抜きなど、今の時間配分が自分にとって最適かを小まめに振り返ることが大切です。就職や子育て、両親の介護など、自身を取り巻く環境は年齢を重ねるごとに変化し、価値観や時間の使い方も変わっていきます。忙しくても、日々の生活を改善点や課題を見つけたら、後回しにせずきちんと向き合うことが重要です。日頃から勤務先や家族とコミュニケーションを取り、自身の希望や状況を相談できる良好な関係を築いておくことも忘れずに。

自分に合った時間の過ごし方を考えることは、仕事との調和に限らず、学生から定年退職した方まで誰もが心掛けるべきことです。人生をより豊かなものにするために、時には立ち止まって、自分の暮らしを見つめ直してみたいかがでしょうか。

いやる気持ちが生じた。感謝の気持ちを忘れずに、それができていることをやって、支え合っていきたい」と話します。家族の理解やサポートは、横

井さんにとって何よりの心の支えです。井さんにとって何よりの心の支えです。井さんにとって何よりの心の支えです。

一番大事にしたいこと

井さんにとって何よりの心の支えです。

モットーは休日を充実

佐々木 拓さん(42・上荻野)

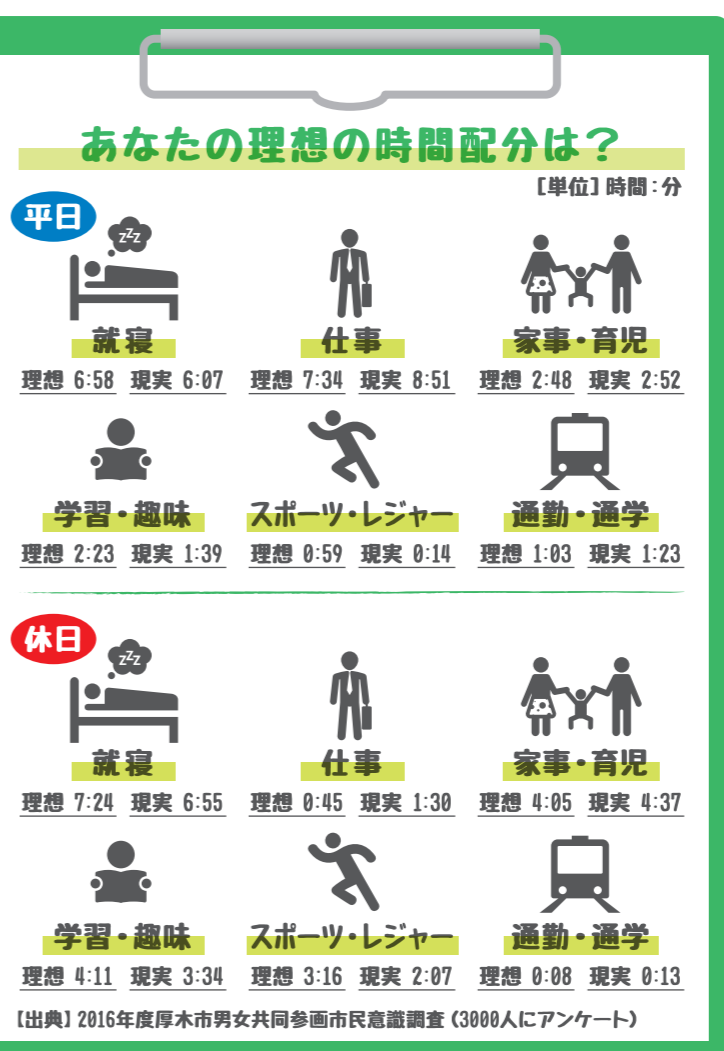
企業で、社内の業務管理の仕事をしています。昔から出掛けるのが大好きで、休日は家族でいろいろな場所を観光したり、市民農園で野菜を作ったりしています。仕事が多忙になっても、休日が充実しているとリフレッシュできます。今年から、市民リポーターにも挑戦を始めました。新たな体験を楽しみながら、自分の時間を充実させることで、仕事へのやる気にもつながっていきます。



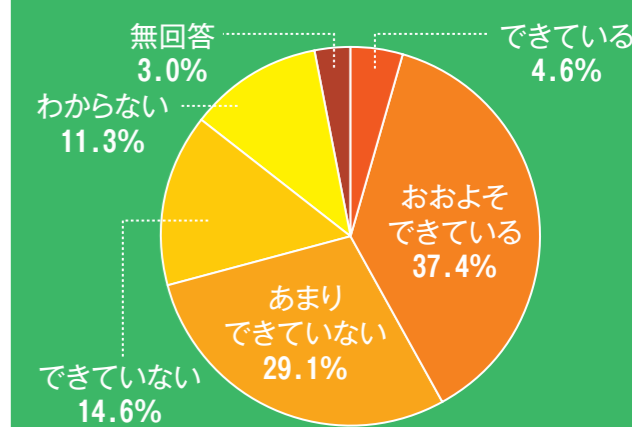
農作業も子育ても家族で分担

佐々木 潤一さん(40・飯山)

妻や両親たちと協力して、シクラメンなどの花を生産・出荷しています。花は常に目を配る必要があるので一年を通して休みが取りづらいですが、両親の力を借り、分担しながらお互いに家族の時間を作るよう心掛けています。最近では、市内の農家の集まりなどで仕事を任せられることも多くなり、忙しくも充実した日々を送っています。空き時間をうまく使って、家族の時間も大切にしていきたいです。



Q.ワークライフ・バランスは実現できている?



【出典】2016年度厚木市男女共同参画市民意識調査(3000人にアンケート)

地域の絆を深めた10年の歴史に幕 最後の「どろんこバレーボール大会」を開催



白熱した試合が観客を沸かせた

1年生の時から参加していたので、終わってしまうのが寂しい。これからも地域のイベントに積極的に参加したい」と話していました。

南毛利南地区の初夏の風物詩「どろんこバレーボール大会」が、5月に愛甲公民館近くの水田で開催されました。10年にわたり地域の絆を深めてきたこの大会は、惜しまれつつも、今回が最後の開催となりました。約300人の参加者は、600平方メートルほどの水田に設置された2コートで、泥に足を取られながら熱戦を繰り広げました。大会に出場した西澤壮真さん(14)は「中学

水難事故に備えて 消防本部が相模川で潜水訓練

水難事故が増える季節に備え、消防本部が相模川で現地潜水訓練を実施しました。訓練には、救助隊員や消防隊員など17人が参加。救命ボートの組み立てや操船などを確認した他、川で流された人の引き揚げ訓練や、酸素ボンベを装着しての水中捜索訓練に励みました。訓練は、川に釣りやバーベキュー、キャンプなどで訪れた人が水難事故に遭った際、素早く救助に当たれるよう、毎年実施しています。事故は7、8月にピークを迎えるため、消防本部は、無理な遊泳はしない、子どもだけで遊ばせないなど、注意を呼び掛けています。



事故の多い相模川で訓練する隊員たち

街のNEWS



“世界一”の誇りを胸に スノーボード世界大会優勝選手が市長を表敬

この大会は、選手にとってオリンピックやワールドカップと並ぶ世界最高峰の舞台です。大塚さんが出場した種目は、高さ30〜40メートル、傾斜20度以上のジャンプ台から飛び、空中で回転技などを披露するもので、今年からオリンピック競技になりました。大塚さんは「小学生の頃から目標だった大会なので、優勝できてうれしい。オリンピックを目指してもっと実力をつけたい」と意気込んできました。



BURTON提供

縦3回転・横4回転の大技を披露 小林市長から「栄光の盾」が贈られた



5月にノルウェーで開催された冬季競技大会「Xゲームズ」のスノーボード男子ビッグエアで優勝した市内在住の大塚健さん(17)が、小林市長らに金メダル獲得の喜びを報告しました。

自治会長と市長が意見交換 まちづくりフリートークを開催

自治会長と市長が地域の課題を話し合う「まちづくりフリートーク」が、6月から始まりました。初日の森の里地区では、5人の自治会長が小林市長と意見を交換。地区内の公園整備や空き店舗を活用した交流の場づくりなど、より良い地域にするための意見が交わされました。森の里1丁目自治会長の神保忠男さん(72)は「話し合いで出た課題の解決に向け、行政と一緒に取り組みたい」と熱を込めていました。フリートークは、小林市長が就任以来の信念として「現地対話主義」を実現したもので、今年で12回目の開催となります。7月27日までに市内15カ所の会場で、約200人の自治会長と対話を進めていきます。



活発な意見交換が展開された

アツギ X NEW ZEALAND ホストタウン通信

NZ代表の女子バスケットチームがキャンプを実施



7月17〜24日に、女子バスケットボールNZ代表チームが厚木市を訪れキャンプを実施します。

チームは「トール・ファーンズ」の愛称で親しまれ、2004年に開催されたオリンピックアテネ大会に出場。初めてのオリンピックの舞台ながらも、8位に入賞するなど高成績を取っています。25日から台湾で開催される国際大会「ウィリアムジョーンズカップ2018」に出場予定で、キャンプ中は、市内のスポーツ施設を中心にトレーニングを実施。この他、荻野運動公園を会場に、厚木の子どもたちを対象にしたバスケットボール教室の開催や国内の女子バスケットボール実業団チーム「FUJITSUレッドウェーブ」との交流試合を21日に予定しています。

教室や交流試合の情報は決まり次第、市ホームページに掲載していきます。この機会にぜひ、荻野運動公園へ足を運び、世界で活躍するトップ選手と触れ合いませんか。

2020年東京オリンピック・パラリンピック(東京五輪)に向けて、ホストタウン相手国となったニュージーランドとの交流事業などを紹介します。

潜水艦の内部のような装置では頭が痛くなり、地下へ降りるはしごの空間は暗く狭苦しい。脳裏に浮かんできたのは、「健康に不安のある人は絶対に入らないでください」とくぎを刺された言葉でした。本厚木駅周辺約205分の浸水軽減対策として、あさひ公園(旭町)で進めている雨水貯留施設の整備現場を視察しました。地上ではプール40杯分の雨水を貯める箱を造り、地

下ではこの箱を埋めるための掘削が進んでいます。冒頭の描写は、地下5メートルの掘削現場へ向かう様子です。現場は地下水の湧出を抑えるために空気を加圧した状態で作業をしています。現場への出入りには加減圧装置に入る必要があり、飛行機に乗ったような体の違和感を覚えます。掘削は最終的に26メートルに達し、加減圧に要する時間は最大で3時間。一人が一日にできる作業は3時間にまで制限されるそうです。外見も大仕事ですが、内部では想像を超える難作業が進んでいることを実感しました。完成は2019年8月を予定しています。関係者の皆さんと力を合わせ、豪雨に負けない市街地をつくり上げてまいります。



加圧された掘削現場を視察

下ではこの箱を埋めるための掘削が進んでいます。冒頭の描写は、地下5メートルの掘削現場へ向かう様子です。現場は地下水の湧出を抑えるために空気を加圧した状態で作業をしています。現場への出入りには加減圧装置に入る必要があり、飛行機に乗ったような体の違和感を覚えます。掘削は最終的に26メートルに達し、加減圧に要する時間は最大で3時間。一人が一日にできる作業は3時間にまで制限されるそうです。外見も大仕事ですが、内部では想像を超える難作業が進んでいることを実感しました。完成は2019年8月を予定しています。関係者の皆さんと力を合わせ、豪雨に負けない市街地をつくり上げてまいります。

タウンガイド

7月							8月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	5	6	7	8	9	10	11
8	9	10	11	12	13	14	12	13	14	15	16	17	18
15	16	17	18	19	20	21	19	20	21	22	23	24	25
22	23	24	25	26	27	28	26	27	28	29	30	31	
29	30	31											

☎=申し込み ☎=問い合わせ
☎=電話番号 ☎=ファクス番号
✉=Eメール 🌐=市ホームページ
📍マイタウンクラブ
📍印の番号で、ウェブ上から詳しい情報を確認できます。「📍」と記されたものは、申し込みもできます。

おひざにだっこのおはなし会

7月11・12日、①10時30分～②11時～(各回30分)。中央図書館。歌・手遊び、人形劇、紙芝居の読み聞かせなど。1～4歳程度の幼児と保護者。無料。📍当日直接会場へ。📍中央図書館☎223-0033。

「Aloha E Komo Mai ぼうさいの丘公園!2018」出演・出店者を募集

9月15日、10～15時(雨天時は16日に順延)。ぼうさいの丘公園。フラダンス出演者=フラ・タヒチアンダンスで活動する団体18組(1組2曲10分)。無料。フリーマーケット出店者=市内在住の20店舗(中学生以下は不可)。500円。いずれも順延時にも参加できる方。📍ハガキに催し名、〒住所、代表者氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、フラダンスはチーム名、参加人数、曲名、フリーマーケットは出店内容を書き、7月29日(必着)までに〒243-0036長谷626-1環境みどり公社☎225-2774へ。抽選。



リサイクル体験学習

7月27日、10～12時。神奈川工科大学厚木市子ども科学館。電池チェッカーと紙とんぼ作り。市内在住の小学生と保護者40人。無料。☎電話またはファクスに〒住所、参加者全員の氏名、学年、電話番号を書き、7月17日までに環境政策課☎225-2749・☎223-1668へ。抽選。📍182104

バスで行く環境エコツアー「水辺の生き物探検隊」

8月1日、9～12時。善明川。水辺の生き物探しなど。市内在住在勤在学の方25人(小学3年生以下は保護者同伴)。無料。☎電話またはファクスに〒住所、氏名、年齢、電話番号を書き、7月20日までに環境政策課☎225-2746・☎223-1668へ。抽選。📍182293

みどりのカーテンぐらんぷり2018

夏を涼しく過ごす「みどりのカーテン」のコンテストの作品を募集します。《対象》市内の個人・団体・企業《応募期限》8月31日(必着)《審査方法》写真審査。📍環境政策課にある応募用紙(☎からダウンロード可)を、郵送、Eメールで〒243-8511環境政策課☎225-2746・☎3100@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

夏休み 消防士一日なりきり体験

消防体験教室

憧れの消防士の仕事を体験できるイベントを今年も開催します。消防服を身にまとい、放水やロープワーク体験をしてみませんか。

日時 8月24日 ①9～12時 ②13～16時
25日 ③9時30分～12時 ④13時～15時30分

会場 睦合分署

内容 消防体験・防災体験=放水やロープの結び方、起震車での地震体験など
応急手当講習会=自動体外式除細動器(AED)を使った心肺蘇生法の講義など

対象 市内または清川村在住の①②中学生③④小学4～6年生各回40人

📍7月2日～8月3日に、消防本部予防課へ。先着順。📍①②182063③④182109

📍予防課☎223-9371



市営自動車駐車場の指定管理者を募集

《期間》2019年4月1日～(5年間)《対象》法人またはその他の団体(個人は不可)。📍市街地整備課にある申請書(☎からダウンロード可)を、7月23～31日に直接、市街地整備課☎225-2470へ。

創業者支援利子補給金

新たな創業者を応援するため、市内で開業し、一定の条件を満たす方に利子補給を実施します。《対象》①市内で開業し営業を継続②日本政策金融公庫から創業に必要な融資を受けている③融資実行日の前後6カ月以内に開業④市税を完納一の全てを満たす方《金額》支払済利子(延滞に係る利子を除く)の2分の1(6カ月10万円を限度、1000円未満切り捨て)《期間》融資実行月

から24カ月。申し込み方法などの詳細は、☎を確認してください。📍産業振興課☎225-2832。

介護保険負担割合証の更新

要介護・支援認定を受けている方や総合事業の対象者に、介護保険負担割合証を7月中旬に郵送します。適用期間は、8月1日～2019年7月31日です。新たに申請された方には、結果通知と併せて郵送します。📍介護福祉課☎225-2393。

まるごと福祉!就職相談会

7月29日、10時～15時30分(入場は15時まで)。保健福祉センター。市内の介護事業所・障がい児支援施設の担当者による就職相談や採用のための相談会。無料(入退場自由)。📍当日直接会場へ。📍介護福祉課☎225-2240。

7月は「社会を明るくする運動」強調月間

犯罪や非行のない明るい社会のため、各地区で街頭啓発活動を実施します。📍福祉総務課☎225-2200。

みんなの声でつくるまち

《意見交換会》

■市地域防災計画の改定
8月7日、19時～20時30分。市役所本庁舎。📍当日直接会場へ。📍危機管理課☎225-2190。

■自治基本条例の見直し(総点検)
7月21日、10～12時。市役所本庁舎。📍当日直接会場へ。📍市民協働推進課☎225-2141。

あなたの夢 応援します

あつぎ起業スクール

創業支援のプロからノウハウを学べる講座を開講します。

日時 8月25日、9月1・8・15・29日、10月6日(全6回)。
会場 厚木商工会議所
内容 経営者の心構え、ビジネスコミュニケーション、マーケティング戦略、会計の仕組みなど

対象 市内で起業予定または起業後1年以内で全日程参加できる方 30人
(託児あり。満1歳以上) 費用 4000円(テキスト代含む)

📍ハガキ、ファクス、Eメールに〒住所、氏名、年齢、電話番号、受講動機(50字以上)、志望業種、託児の有無を書き、8月3日(必着)までに〒243-8511産業振興課☎223-7875・☎3900@city.atsugi.kanagawa.jpへ。先着順(書類選考あり)。📍182303

📍産業振興課☎225-2832



夢をかなえた先輩起業家

起業への不安が自信に変わる

2017年度受講生 上古沢でパン屋を開業 松村 浩一さん(37)

開業を前に、店を本当に続けられるのか、不安に思う部分がありました。スクールを受講することで、プロのノウハウや他業種の視点など、自分に足りなかった部分を補うことができ、自信をつけることができました。起業という同じ志を持つ仲間と出会い、モチベーションを高め合えたことも大きな財産です。

開業から約半年。おかげさまでリピーターも増えてきました。今後はスクールで得た知識や視点も生かしながら、自分なりのビジネスモデルを確立し、発信していきたいです。

インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集中
厚木市 インターネットモニター 検索
📍広報課☎225-2043

6月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆歯磨きは健康の基本。食後にしっかり磨く習慣を子どもたちが持つのはとても良い / 50代男性◆将来、自分もコミュニティ・スクールに参加して、授業のサポートに力を生かしたいと思った / 40代女性◆あゆこちゃんGENKIポイントは健康を気遣うきっかけになる良い取り組み / 20代女性◆子どもたちに物を大切にする心を学ばせると同時に、自分も物を直す技術を学んでみたいと思った / 40代男性

編集後記

仕事と生活を両立する上で心掛けていることを皆さんに伺ったところ、多かったのが、勤務時間と休日のメリハリを付けることでした。「業務のことが頭から離れない」「寝ている時に働く夢を見る」といった経験をしたことがある人は多いのではないのでしょうか。働く時は働く、休む時は休む。簡単なようで、とても難しいことだと感じています。我が家でも、休みの日は思いっきり休む、「休み方改革」を実行したいと思います / 佐久間

8月4日
19時～
打ち上げ

第72回あつぎ鮎まつり

大花火大会

夏の思い出に、大迫力の花火1万発を間近で観覧しませんか。「みんなの花火」を打ち上げるための協賛金も募集しています。

☎ 観光振興課 ☎ 225-2820

観覧席チケット販売

発売日 7月1日(日) 10時～
場所 セブン-イレブン全店
価格 厚木側 2人席=6000円
 4人席=1万円
 海老名側 2人席=5000円
 3人席=6500円
 4人席=8000円
 5人席=9500円


※一般観覧場所は無料で入場できます。

みんなの花火協賛金を募集

皆さんから協賛金を募り花火を打ち上げます。ご協力をお願いします。

募金箱 観光振興課、各公民館、観光案内所、市観光協会、厚木商工会議所

※1000円以上の協賛金で記念品をプレゼント。



オリジナルレジャーシート付き!
90センチ×120センチ

【会場】 相模川三川合流点

厚木側
観覧席

一般
観覧場所

海老名側
観覧席

一般
観覧場所

あゆみ橋

あつぎ 元気Wave
ケーブルTV 7/1～
花火の見どころを紹介

スポーツキャンプ 日体大



市が協定を結ぶ大学で、トップレベルの指導を体験しませんか。小田原市の小学生とも交流できます。

- 日時** 8月20～21日(1泊2日)
- 場所** 健志台キャンパス(横浜市)
- 対象** 市内在住の小学5・6年生14人
- 費用** 5000円程度(宿泊費、食事代など)

申 往復ハガキに〒住所、氏名、電話番号、性別、学校名、学年、取り組んでいるスポーツ、保護者氏名(自署)を書き、7月13日(必着)までに〒243-8511 スポーツ推進課へ。抽選。



☎ スポーツ推進課 ☎ 225-2531

募集

ひろみちお兄さんの親子運動あそび

無料


体操のお兄さんでおなじみの佐藤さんと、楽しく体を動かしませんか。

日時 9月1日
13時30分～15時

場所 荻野運動公園

対象 市内在住在学の3歳～小学2年生と保護者150組

申 往復ハガキに〒住所、氏名、年齢、電話番号、保護者氏名、参加人数を書き、7月31日(必着)までに〒243-8511 スポーツ推進課へ。抽選。



佐藤弘道さん

日体大卒業。NHK「おかあさんといっしょ」で10代目体操のお兄さんを務め、現在も体操教室などを開催中

連載 25周年 **自然歳時記**

● ツバキシギゾウムシ ●
ゾウムシ科

体長 6～10^{mm}ほどの昆虫。体よりも長い口先で堅い実に穴を開け産卵する。名の由来は、ツバキを食樹とし鳥のシギの長い口のような口吻を持つため/温水の雑木林で見つけた。 写真・文/吉田文雄



小高い丘にある大きなエノキの木のそばに、実を付けたツバキがあった。3センチほどの黄緑色の実を何気なく見ると、茶色い虫がいた。

まさかと思ったが、それは紛れもなくツバキシギゾウムシだった。こちらを向くと、ツバキの堅い実(ごうみん)に口吻を当て穴を開け始めた。前足で踏ん張り、口吻を軸に回りながら、徐々に深く差し込んでいった。

深く差すのは、奥にある種に産卵するためである。産まれた幼虫は種を食べ、穴から脱出する。いくつも見える穴は、種まで届くことを何度も確かめた跡だろう。暑さに負けず苦勞を厭わない小さな虫に感動した。

厚木市の人口 (6月1日現在)	世帯数 9万9014世帯 (前月比92世帯増)	人口 22万5318人 (前月比26人減)	男 11万6531人・ 女 10万8787人
---------------------------	--------------------------------	------------------------------	--------------------------------------